

まほうのごはん

川越市立大東東小学校 二年

仲 紗 幸

「すきなたべものは何ですか。」

「ままの作ったおべん当です。」

わたしは、自こしようかいでいつもこう答えています。ままのごはんはせかい一です。玉子やきもタコさんウィンナーもすきだけどくにすきなのは、おむすびです。しおがついているところがあまくて、しっとりしたのりと一しよにたべるのが大すきです。たまに、のりが顔の形になっていて楽しいです。ままのおにぎりをたべると、元気も勇氣もやる気もでてきて、ふしぎです。ままは、ごはんにまほうをかけて作っているのかな。

わたしがびよう気になると、ままはぜったいに、たまごしやけおかゆを作ってくれます。びよう気になるのはいやだけど、びよう気になると出てくる「とくべつメニュー」でうれいす。あつあつを、ふうふうしてもらってたべるとすぐ元気になります。やっぱり、ままはごはんにまほうをかけているのかな。

まほうのごはんがどうやってできるのか、しりたくなつたので、ままに、

「おむすびはどうすればおいしくなるの。」

と聞くと、

「元気が出るように、たべる人の気もちをかんがえて、ぎゅっぎゅつてにぎるんだよ。」

と教えてくれました。

「お米一つぶ一つぶ大切にそだてられているんだよ。田んぼのお米を見てみたら？」

と言われました。わたしは、それまでじっくり見なかつた近じよの田んぼに行つてみました。そうしたら、小さな黄みどりのふくろがぶっくりしていました。これがごはんになるのはすごいと思ひました。来年は、田うえからかんさつして、お米がどうやってできるのかを、しらべてみたいす。

お米を作っている人とままの気もちが、わたしを元気にしてくれていると分かりました。わたしもいつかごはんで人を元気にしたいな。